

## トピックス

製薬協国際委員会のグローバルヘルスグループが、グローバルヘルス各種課題に対する製薬協の考え方を、優先課題と活動という視点で整理したステートメントを2012年11月に作成しました。製薬協のウェブサイトに掲載していますので是非ご一読ください。今回、その概要をご紹介します。

## 背景

世界の健康状況は、平均余命の延長に示されるように今日までに大きく改善してきており、この中で新薬は大きな役割を果たしてきています。しかしながら、発展途上国においてははまだ医薬品を含む医療へのアクセスが十分でない地域が存在しており、これら地域での保健医療を改善することは国境を越えるグローバルヘルスの課題として最優先事項となっています。世界における保健医療を改善するためには、国、地域および国際レベルのすべてのステークホルダーが責任を担い、さまざまなレベルのネットワークによる協調、パートナーシップを通じた課題解決に取り組むことが重要です。

われわれは、以下の各課題に対する共通の基本的考え方をもち、グローバルヘルスにおける重要なステークホルダーであることを強く認識するとともに、国連、世界保健機関（WHO）などの国際機関、発展途上国政府および日本政府、NGO、国際製薬団体連合会（IFPMA）等とのさらなる連携を模索し、発展途上国の保健医療の向上に貢献していきます。

グローバルヘルスに関連する  
製薬業界の重要課題

## 1. イノベーション：医薬品およびワクチンを創出

医薬品業界本来のミッションである、有効かつ安全で高品質な新薬を創出すること。医薬品開発にかかわるパートナーシップも含めて、最新の研究およびテクノロジーを医薬品創出につなげること。これらが、研究開発型製薬企業の最大の社会的使命と認識しています。

## 2. 3大感染症および顧みられない熱帯病（NTDs）

WHOによれば、3大感染症と呼ばれる、AIDS、結核、

マラリアによる死亡者数は世界で約430万人（2009年）に上り、また、顧みられない熱帯病（Neglected Tropical Diseases/NTDs）と呼ばれる熱帯地域約150カ国に蔓延する感染症と併せ、世界中で10億人以上が感染していると推測されています。

貧困のため十分な治療を受けられず、感染は蔓延していく、その蔓延が貧困の原因となる、という負の連鎖を断ち切る解決策が求められています。この課題解決には、国境を越えた官民の取り組みがより強く求められています。

## 3. 能力開発（キャパシティビルディング）

医師や病院の不足など医療インフラが未整備、あるいは医療保険制度がなく治療を受けられない、世界にはそのような地域が存在します。有効な薬剤があったとしてもこれらの問題を解決しなければ、いわゆる医薬品アクセスは改善されません。医薬品の製造や品質管理にかかわる人材不足、偽造医薬品の横行なども医薬品アクセスの妨げになっています。製薬協は、現地での能力開発に関する実務指導および教育訓練を重要な課題と捉えています。

## 4. 知的財産制度

知的財産制度がグローバルヘルスの妨げになっているという活動家もいますが、それは誤った認識であり、知的財産制度のもとでこそ研究開発投資を適正に行うことができ、さらには各国の社会基盤を強化することに役立ちます。本ステートメントでは発展途上国での知的財産制度運用に関する製薬協の基本的考え方を整理しました。

## 5. 偽造医薬品対策

新興国を中心に偽造医薬品による被害は増加の一途をたどり、発展途上国では流通している医薬品の10～30%が偽造であるという報告もあります。またインターネットでの購入の増加により先進諸国でも犠牲者



製薬協ウェブサイトに掲載されているグローバルヘルスに関するステートメント

が増加しています。製薬協も政府およびIFPMAや他国の業界団体と連携して偽造医薬品の撲滅に取り組みます。

## 6. 非感染性疾患(NCDs)

非感染性疾患 (Non-Communicable Diseases/ NCDs)のうち現在WHOは癌、心血管系疾患、糖尿病、慢性閉塞性肺疾患をNCDs対策の対象としています。これらの疾患は過去、先進国に多い疾患と捉えられていましたが、近年では先進国のみならず、多くの新興国、発展途上国での死亡原因の1位を占め、全世界の死亡者数の63%がNCDsにより亡くなっています(2008年)。グローバルヘルス課題の中でもNCDsはますます大きな課題として捉えられており、NCDsによる死亡率低減のため、リスクファクターの低減など新興国、発展途上国政府は取り組みを開始あるいは強化しています。

## 7. 信頼と倫理

効果と副作用情報をはじめ医学的、科学的かつ倫理的な情報提供が前提となることが医薬品の特徴です。世界の医薬品が世界の人々から信頼されるよう、製薬

協は、製薬企業の活動に関する高い倫理基準の設定とその世界的普及・浸透を行っています。

## 8. 製薬協会員企業の取り組み事例

製薬協および会員企業はグローバルヘルスへの貢献活動を行っています。上記1~7の重点課題に関連する会員企業の具体的な企業活動を紹介しています。

グローバルヘルスの問題解決のためにWHOおよび加盟国政府、世界銀行、ゲイツ財団はじめ、多くの団体や人々が取り組みを強めています。先進国から発展途上国への資金援助は継続して必要ですが、資金だけでは解決しない専門的、技術的な面も含めイノベーションが必要な問題が多数存在します。世界中の人々がグローバルヘルスに関心を寄せ、少しでも多くの人が、少しでも貢献する活動を行うことが重要です。それが、発展途上国の健康保健を先進国に近づけ、高齢化する先進諸国の健康も改善します。このグローバルヘルスの改善がひいては世界経済を立て直す大きな原動力となるという認識を持ちたいと思います。

(国際部 嶋原 毅)